

## 第 25 回日本糖尿病教育・看護学会学術集会 プログラム抄録集の訂正

P.4 日程表 ランチョンセミナー 7 の追加 (裏頁参照)

P.5 日程表 交流集会 2 のタイトル

「どうすべき? 糖尿病をもつ男性のセクシュアリティの看護のはじめかた」

P.18 ランチョンセミナーの追加

11:45 - 12:45 ランチョンセミナー 7

糖尿病治療に関する針刺し・切創ゼロを目指して

～糖尿病患者の注射療法に関する感染マネジメントバンドル 2020 ～

講師: 田中 永昭 (関西電力病院 糖尿病・内分泌代謝センター)

星野 ゆかり (仙台厚生病院)

木下 久美子 (関東労災病院)

座長: 三嶋 廣繁 (愛知医科大学大学院)

共催: 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

P.20 と P.70 演題番号 12

演者の所属

○武田 織枝<sup>1</sup>、平澤 則子<sup>2</sup>、高林 知佳子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>新潟県立中央病院、<sup>2</sup>新潟県立看護大学

P.23 と P.85 演題番号 41

共同演者の追加

○長山 千枝、間中 昌利

JMA 東埼玉総合病院

P.96 協賛企業の追加

株式会社三和化学研究所

PHC 株式会社

LifeScan Japan 株式会社

9月19日(土)

	チャンネル1 (録画配信)	チャンネル2 (録画配信)	チャンネル3 (録画配信)	チャンネル4 (録画配信)	チャンネル5 (録画配信)
8:00					
8:30					
9:00					
	9:10~9:20 開会式				
9:30	9:20~10:10 会長講演 患者に寄り添う「合併症を予防する」支援と「合併症を持ちつつ生きる人」への支援 演者：土屋 陽子	9:20~10:10 会長講演	9:20~10:10 会長講演	9:20~10:10 会長講演	9:20~10:10 会長講演
10:00					
	10:20~10:30 表彰式				
10:30					
11:00	10:35~11:35 特別講演1 病いを得て生きるということ 講師：皆藤 章 座長：土屋 陽子	10:35~11:45 学会委員会企画(編集委員会) 専任査読者のための査読入門	10:35~11:35 糖尿病看護認定看護師活動展示		
11:30	休憩		休憩		
12:00	11:45~12:45 ランチョンセミナー1 患者が納得する注射導入のコツ ～インスリン製剤・GLP-1受容体作動薬(配合薬)への期待～ 講師：金子 能人 座長：小川 吉司 共催：ノボルディスクファーマ(株) ※ライブ配信のみ	11:45~12:45 ランチョンセミナー2 血糖変動の「見える化」と運動療法 ～新型コロナウイルス感染症の話も含め～ 講師：田村 好史 共催：アポットジャパン(合)	11:45~12:45 ランチョンセミナー3 適正な自己注射指導の実践について ～手技の成り立ち(理由)を再認識する～ 講師：朝倉 俊成 共催：テルモ(株) ※ライブ配信のみ	11:45~12:20 ランチョンセミナー4 知ろう、話そう、低血糖 監修：岩倉 敏夫 共催：日本イーライリリー(株)	11:45~12:45 ランチョンセミナー7 ランチョンセミナー7 糖尿病治療に関する針刺し・切創ゼロを目指して～糖尿病治療に関する感染マネジメントバンドル2020～ 講師：田中 永昭、星野 ゆかり、木下 久美子 座長：三嶋 廣繁 共催：日本ベクトン・ティックソン(株)
12:30				休憩	
13:00	12:50~13:50 教育講演1 糖尿病患者が、最期まで『自分らしく生きる』を地域で支えるために 講師：山崎 章郎 座長：菊池 結香	12:50~13:50 特別講演2 健康と絆 講師：渡辺 徹 座長：土屋 陽子	12:50~13:50 一般演題 第1群 教育入院(1~6)	12:50~13:40 一般演題 第5群 合併症(23~27)	
13:30	休憩	休憩	休憩	休憩	
14:00	14:00~15:00 教育講演2 糖尿病患者や家族の語りを大切に、その人らしさを支えるケア～不条理な苦しみと向き合うこと～あなたが人生をあきらめても、人生はあなたをあきらめてはいない～ 講師：小湊 竹俊 座長：高屋敷麻理子	14:00~15:00 交流集会1 『糖尿病患者の注射療法に関する感染マネジメントバンドル』を使ってみよう! ～糖尿病治療に関する針刺し・切創ゼロを目指して～	14:00~15:00 一般演題 第2群 高齢者(7~12)	14:00~14:40 一般演題 第6群 透析予防(28~31)	
14:30	休憩	休憩	休憩	休憩	
15:00	15:10~17:10 シンポジウム1 東日本大震災から10年目の歩み～復興と備え～ シンポジスト：黒田 継久、坪井 忠和、菊地 由恵、座長：大谷 明子、及川 紳代	15:10~16:20 海外招請講演(逐次通訳あり) Diabetes care in England from the nurse practitioner's view. 講師：Heather Daly 座長：クライナー智恵子	15:10~15:50 一般演題 第3群 フットケア(13~16)	15:10~17:10 糖尿病看護認定看護師活動展示	
15:30			休憩		
16:00			16:00~17:00 一般演題 第4群 フットケア・生活習慣(17~22)		
16:30					
17:00					
17:30	翌日のプログラム・研修単位についてのご案内				

※休憩時間には協賛企業の製品紹介VTRがランダムで配信されます。  
9月19日、ランチョンセミナー1・3はライブ配信のみです。後日オンデマンド配信はありません。

第1日目 9月19日(土) 11:45 - 12:45

## ■ランチョンセミナー7

座長：三嶋 廣繁（愛知医科大学大学院）

### 糖尿病治療に関する針刺し・切創ゼロを目指して ～糖尿病患者の注射療法に関する感染マネジメントバンドル2020～

講師：田中 永昭（関西電力病院 糖尿病・内分泌代謝センター）

星野 ゆかり（仙台厚生病院）

木下 久美子（関東労災病院）

職業感染制御研究会がまとめた報告書（エピネット日本版サーベイランス 2015）によりますと、臨床現場における針刺し切創の発生件数は年々減少傾向にあるものの、薬剤充填針による針刺し切創の件数は増加傾向にあります。

また、2012年の厚生労働省からの通知「医療機関等における院内感染対策について」において、注射針を使用する際針刺しによる医療従事者等への感染を防止するため「リキャップ」を原則禁止すること、等の注意喚起がなされましたが、ペン型注入器用注射針に関しては使用済みの針を取り外す際針ケースによるリキャップが必要であり、針刺しのリスクが依然として存在しています。

そのような背景をふまえ、2018年に、糖尿病患者の注射手技に関する針刺し損傷とそれに関わる注射用デバイスの準備、廃棄、注射手技及び、その関連領域に関する教育、啓発を目的として、医師・薬剤師・看護師が中心となって、糖尿病の専門家と感染症の専門家のマルチソサイアティによる糖尿病患者の注射療法に関する感染ネットワークが結成されました。

本ご紹介する「糖尿病患者の注射療法に関する感染マネジメントバンドル」は医療従事者であればどなたでもダウンロードし、実際にご使用いただく事が可能です。本バンドルを活用いただき、忌憚のない意見を賜りたいと考えています。バンドルは、皆様の力で改訂を重ねてより良いものに成長させていくのが基本です。先生方の意見により、さらに優れたバンドルの構築に繋がると考えていますのでよろしく願いいたします。

※ご意見、ご質問は、下記サイト内のお問い合わせフォームより承っております。

「糖尿病患者の注射療法に関する感染マネジメントバンドル2020」のダウンロードはこちらのアドレスもしくはQRコードから



[www.bdj.co.jp/s/dcbundle/](http://www.bdj.co.jp/s/dcbundle/)



共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社